

診断京都

No. 133

2021 SPRING

<https://www.shindan-kyoto.com>



平安神宮神苑の枝垂桜

ANNIVERSARY
10th

一般社団法人
京都府中小企業診断協会

「変化・挑戦・貢献」を続ける、京都府中小企業診断協会は2021年に創立10周年を迎えました。

- 02 会長よりごあいさつ
- 03 診断士の私の仕事
- 04 京の起業家
- 06 支援機関紹介
- 07 京都経済センターのご近所さん紹介
- 08 研究会紹介
- 09 協会活動報告
- 10 診断士column
- 11 はんなり診断士
- 12 My favorite・京都検定

～変化(Change)・挑戦(Challenge)・貢献(Contribution)～
令和3年度のスタートにあたって

令和2年度は、全国では、新型コロナウイルスとの共存を目指すべく、新しい生活様式の提唱と経済対策の両立が模索された1年でした。ソーシャルディスタンス、リモートワーク、テイクアウト、GOTO、K字回復などの言葉がよく聞かれました。今年に入りわが国でもワクチン接種が開始されました。今後、治療薬が開発されるまでの『Withコロナ時代』が本格的に始まりました。1年延期されたオリンピックやパラリンピック、ぜひ開催し、成功させてもらいたいものです。無観客、賑わいの無いオリンピックやパラリンピックもまた一興かと思えます。

京都協会も、手探りで進む1年でした。研究会や交流会などは中止や延期、リモート開催になりました。総会も書面で開催しました。対外的な事業面では、4月1日から土日祝日返上で新型コロナ対策支援事業に当たりました。1日180本の電話に対応していただいた日も有るなど、会員の皆様には大変なご苦勞とご努力を重ねていただきました。感謝の念に堪えません。そうした皆様のお力添えのお陰で、速報値ではありますが、令和2年度も社会貢献積立を継続することができました。改めて御礼申し上げます。

令和3年度は、京都協会創立10周年という節目の年に当たります。新型コロナウイルス感染拡大防止、接触回避をキーワードに何らかの記念事業を実施したいと思います。経済事業の面では、詳細は5月の総会に委ねるとして、引き続きコロナ対策支援関連の事業に取り組んで参ります。また、独自事業のアイデア探索など、次の時代を見据えた準備を始めたいと思います。なにとぞ倍旧のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

Withコロナ時代にあっては、コロナ以前に戻ることを期待せず、また一時避難ではなく、先の準備に舵を切ることが大切です。バスの料金をQRコードで支払う時代です。ゴーイングコンサーンであるために、改めて自分を見つめなおし、非接触を自身の個性に反映して、活かしていくことが求められます。賑わいに価値を置く集客モデルだけでなく、賑わいの無いことに価値を置くコンテンツの創造も求められます。京都協会も例外ではありません。創立10周年を機に、標題に掲げている「変化、挑戦、貢献」の下、私たちのビジネスモデル自体を真剣に見つめ直す1年にしたいと思います。

会長
山脇 康彦



人が存在価値を感じて成長できる 働きがいのある組織づくりを目指して

アクセルコンサルティング(株)所属。大卒後12年間、婦人服製造卸業で商品企画、アパレル通販会社でマーケティングに従事。2010年からJICAボランティアでケニアへ。帰国後、人材サービス企業の総務人事を経て現職。



顧客分析を学んだアパレル時代

診断士を取ろうと思ったのは、大阪のアパレル会社で商品企画をしていた時です。会社の方針と自分の考えが合わなくなっていた頃、会社近くの駅ビルに入っていた資格学校の説明会が目に入って。参加したら、登壇した診断士がアパレル業界出身の方で、「こんなキャリアパスもあるんだな」と思い、勉強を始めました。

勉強するとマーケティングを深めなくなり、系統立てたマーケティングをしているアパレル通販会社に転職しました。ターゲット戦略、アイテム構成、色展開、サイズ展開まで、顧客分析に基づいて決定するプロセスはとても勉強になりました。女性が多く、育児後の復職率も高く女性管理職も多い。働く環境はとても整っていたと思います。

でも、夫が「JICAの青年海外協力隊に行く」と言い出し、興味を持ったのです。ちょうどエシカルファッションという言葉が業界紙に出始め、大量生産の仕事を続けることに疑問を持ち始めていたタイミングでした。海外で



JICA青年海外協力隊時代の阪本さん(中央)

暮らすことへの憧れもあり「行くなら今」と、思いきって飛び込みました。

ケニア派遣からパート&診断士

診断士試験合格後、実務補習を残してケニアに赴任していたため、帰国後は実務補習を受講。第1子も妊娠したので転職活動は諦め、出産後にプロコン塾に通いました。

その後、人材派遣のベンチャー企業にパートで入社。履歴書に「中小企業診断士」と書いていたからか、週3日勤務でありながら、社員のメンタルチェック、就業規則の見直し、新卒・中途採用など、総務人事系のあらゆる仕事を任せていただきました。

残りの週2日は、診断協会の受託事業である「京都府地域力ビジネス支援」ハンズオン支援や、大阪NPOセンターのソーシャルビジネス支援などに従事。社会課題をビジネスの視点で支援する仕事には関心を持ち続けています。



「京都府地域力ビジネス支援」に従事する阪本さん(右)

前向きに対応し将来を描く支えに

2017年に人材派遣会社を辞め、現職に。中小企業様の事業計画策定や事

業調査を始め、顧問先の様々な相談に応じています。心がけているのは、相談には前向きに対応し、求められる以上の情報提供をすること。経営者は今の悩みに注目しがちですが、「3年後どうなっていたいですか?」と少し先の将来を見せてあげるのが診断士の役目と感じています。

また、人材派遣会社時代の経験を生かし、組織開発系の仕事に多く従事しています。「組織の風通しを良くしたい」「中間層の自律性を伸ばしたい」などの多様な課題に対し、社内アンケート、グループワーク、個人面談の改善や、会議手法の改善などを都度ご提案しています。

組織系の仕事は、最も関心ある分野です。複業やワークシェアなど働き方が多様化するなか、中小企業は、多様性を許容し従業員が自律的に働く環境を整えながら、組織としても成長していく必要があります。いろいろな社会課題がありますが、企業での柔軟な働き方が可能になれば、例えば、週1は介護や育児にコミットしながら残り週4は働くといったことが可能になり、地域の課題に目を向けたり、他者を思いやる人も増えていくと思うのです。企業が変われば社会も変わる。誰もがその人らしく、存在価値を感じて働ける組織づくりの一助が、私の仕事です。

(立藤 慶子)

京の起業家

28

京都商工会議所よりご紹介をいただき、京都市左京区で2019年2月に放課後等デイサービス「bridge」を開業された合同会社 mock up の松浦雅衛様にお話を伺いました。

合同会社 mock up
代表

松浦 雅衛 様

美術系の大学を出てアパレルメーカーに勤務した後、成人の就労支援や相談支援事業を行う施設で約9年、児童向けの放課後等デイサービスを提供する施設で3年程度勤める。
2019年2月に放課後等デイサービス「bridge」を京都市左京区で開業。



事業の概要と、開業の経緯を教えてください。

平日の放課後と祝日の日中に、6歳から18歳（小学1年生から高校3年生まで）のハンディキャップを抱えたお子様を対象として生活能力向上と社会参加のためのプログラムを提供しています。健常児と違い部活やお店、行事などへの参加に制約があるお子様が、工作や料理、運動やお出かけなどの活動を通じて成長し自立できるようサポートしています。

登録されている利用者は小学生と中学生が半々で、状況も軽度から重度までと様々ですが、当施設のこだわりとしては1日10名までの利用に対して常に4名以上のスタッフを配置して、お子様ひとりひとりに目が行き届くような体制で運営させていただいています。

当施設を開業する前は、美術系の大学を出てアパレルメーカーに勤めていたのですが、たまたま福祉業界にご縁があり、成人の就労支援や相談支援事業を行う施設で約9年、児童向けの放課後等デイサービスを提供する施設で3年程度勤めました。

その後、起業を志しました。きっかけは自分の子どもにも障害があり、子どもを通わせる施設を作りたかったこと、もうひとつは、

営利企業の目線では効率と利益重視に偏りがちな福祉業界で、持続可能な経営をしつつも理想的な福祉を実現する施設を作りたかったことです。

開業してから苦勞されたことはどのようなことですか。

テナントを探すにあたり、福祉・介護系の事業は賃借が不可という物件が多かったため、当初希望していた立地では見つかりませんでした。不動産会社やインターネットの不動産サイトをこまめにチェックして問い合わせをし、だんだんとコツもわかってきて4か月目ようやく今の事務所を見つけることができました。

また、福祉施設として行政の許認可を受けるにあたり、児童指導員や児童発達管理責任者の資格を保有している人の雇用が必須であることもあり、人材の確保にも奔走しましたが、知人の紹介で運よく比較的短期間で雇用することができました。

京都商工会議所からはどのような支援を受けましたか。

起業を思い立ったときに、業界や仕事のことはわかるけれど施設立上げにあたってのお金のことや手続きのことなどをどうすればい

(左) 外観
(右) 活動の様子



いのか見当もつかなかった状態で、ペット関係で起業した知人からお勧めをされたのがきっかけで、京都商工会議所に電話をして相談をしました。その後、通い詰めながらアドバイスをいただき、日本政策金融公庫での借入のための事業計画作成、特定創業支援事業での登録免許税の優遇及び法人設立にあたっての司法書士の紹介など様々な局面でお世話になり、今後も末永くお付き合いさせていただきたいと考えています。

コロナ禍での影響はどのようなものがありましたか？

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当施設は社会インフラとして受け皿になる役割を求められました。2020年の春に小学校が一斉休校となった際には、平日でもお子様を朝から受け入れることができるよう体制を整える必要があり、学生アルバイトなどを急遽確保して対応しました。2回目の緊急事態宣言で小学校が休校にはなりませんでした。が、アルバイトもさらに増員し、感染対策等もしっかりと行い、運営状況は落ち着きを取り戻しています。

今後の目標を教えてください。

将来、日本では子どもの数が減っていくとされます。そのため、子どもがメインの放課後等デイサービス以外の事業にも対応せざるを得ないと感じています。

例えば、今ご利用いただいている子どもが大きくなられてから成人の就労支援としてもご利用いただく、また、児童および成人の居宅介護などの分野にも進出する、などの展開を想定しています。新たな許認可も必要で容易な道ではありませんが。

現在、私自身も放課後デイサービス施設の運営と兼務して1人の障害児専門の相談支援専門員（いわゆるケアマネ）としても活動しており、無理の無い範囲で事業を多角的に展開していきたいと考えています。

最後にこれから開業される方へのメッセージをいただけますでしょうか。

あまり無責任なこととは言えませんが、もし会社員として納得がいけないことがある、モヤモヤを抱えている、のであれば、「やってみた方がいい！」と思います。

私は創業してから2年間様々な困難に直面しましたがスタッフや周囲の方々の助けを借りて、常にやりがいを感じながら事業をさせていただいています。「今が一番楽しい！」と自信を持って言えます。 (松下 晶)

京都商工会議所 経営支援員 古賀氏より

前職の経験により、創業前の準備を地道に重ねてくれたことが、開業直後から業績をあげられた理由だと思います。この事業に対する理念が利益目的でなく、あくまでも子どもたちに対する奉仕の考えであり、それに共感した従業員も一緒に頑張っておられます。今後のビジョンである「居宅介護分野へ進出」を成功させるために、松浦代表社員がこれまでの経験を活かし、今後益々、地元へ愛される企業へと発展されることを切に願っています。

bridge

<http://bridge-kyoto.com/>

運営会社：合同会社mock up

事業所名称：bridge

事業種別：・放課後等デイサービス (事業所番号2650600238)
・指定障害児相談支援事業 (事業所番号2670600242)

住所：〒606-8184 京都市左京区一乗寺弘殿町6番地1

電話：075-708-3760

与謝野町商工会の紹介

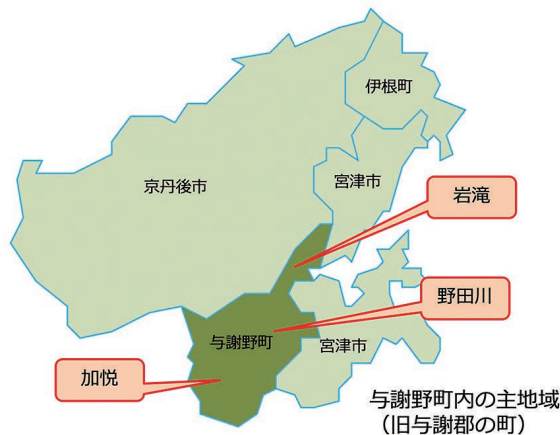
与謝野町商工会は、2006年3月の京都府与謝郡加悦（かや）町・岩滝町・野田川町の行政合併による「与謝野町」発足に伴いそれぞれの商工会が合併し「与謝野町商工会」となり旧野田川町商工会の本所と加悦支所・岩滝支所（週2回の開所）の3拠点にて13名の職員（経営支援員8名）で事務局を運営しています。

商工会の会員は約900事業者で、織物業が盛んに営まれており「丹後ちりめん」の産地である地域特性から、約35%が機業（きぎょう：織物業関連）部会で最も多く、他に商業部会・工業部会・建設業部会・料飲業部会・サービス業部会の6つの部会で構成されています。

また、40歳以下の会員で構成される青年部では、研修事業等の他に、地域で開催される大規模イベントの出店やエイドステーション協力、地域の人向けに与謝野町のことをもっと知って頂くためのイベント（今年度は町内の宝探しイベント周遊事業「与謝野トレジャーハンティング Go To Drive」）や、子供向けの職業体験事業（木工・農業・サービス業等）、観光協会との連携事業や青年部OB会との交流による事業など、地域活性化に寄与する事業を積極的に実施しています。

商工会の実施する経営支援としては、経営相談や各種補助金の申請相談の他にもこれまで事業承継セミナー、新業態のためのITサービス活用セミナーや経営力向上セミナー、2市2町の商工会・商工会議所が連携して構成する（京丹後市商工会・伊根町商工会・宮津商工会議所・与謝野町商工会）丹後地域ビジネスサポートセンター主催の創業ゼミなどのセミナー開催や、エキスパートバンク制度等を活用した各種専門家派遣等を実施しています。

地域特性からも、織物業関連の相談や公的支援制度の利用相談が他地域と比較して多く、最近では代表者の高齢化に伴う事業承継に関連する相談も増加しており地域の事業所における課題となっています。他にも農業従事者、農業との兼業を行っている事業所も多いことから、地域の特産品開発に関連する支援、新しい産業起こし推進事業（売れる商品づくりプロジェクト）や、Uターン、Iターンの若手人材の創業者支援等も積極的に実施しています。



京都経済センターのご近所さん紹介

419号室 一般社団法人 京都電業協会

今回は、「京都の電気・通信をまもる」技術者の集団として活動をされている一般社団法人京都電業協会の専務理事であり事務局長の小林章一さんにお話を伺いました。



事務局長小林さんと
事務局主査の齋藤さん



一般社団法人京都電業協会は、京都府内の電気工事業・電気通信工事業を営業している建設業許可業者で組織された団体であり、現在100社強の会員で構成され、業界振興と業界支援の取組をしている団体です。

同協会が地域への社会貢献の一環として長年実施している事業に、京都府内に多く点在している重要文化財の電気設備点検があります。1976年から継続している事業であり、電気設備の不具合に起因する災害から文化財を守るため、府内の各消防署、建造物所有者等の協力を得て実施しています。

直近では、昨年からのコロナ禍において、これまでの紙媒体ではなく活動を動画に編集し、ホームページでの啓蒙啓発活動、リモートでの相談会、役員会や理事会もリモートで実施するなどの取り組みを進めておられるとのことでした。会員企業は現場での仕事が多く、リモートの活用がまだ進んでません。そのため協会活動内の対応や理事会をリモートで行うなど、同協会の取組そのものを見ていただくことによって、会員企業のICTの活用や働き方改革の一助とするきっかけとなればと考えています。動画配信では、「働き方改革」への対応に関して、協会担当理事が社労士にお悩み相談する形式の動画を作成し、会員はもとより、会員以外の電気事業者の方や京都府外の方にも視聴いただいています。また、会員企業向けに、社労士が対応するオンライン個別相談会を実施されています。



YouTube動画

さらに将来に向けての活動として、平成30年度から試行され、令和元

年度から本格的に取り組んでいる、将来の「電気のまもりびと」を探し育てる活動があります。同協会の青年部会が精力的に実施している活動であり、昨年は京都市立京都工学院高等学校での出前授業を実施、就職支援につなげられるよう取り組んでおられます。(こちら動画で実施状況を発信されています)



青年部会「高校生への講習」

今後は京都工学院高等学校で開催される業界説明会を兼ねた就職カフェへの参加や京都府の教育委員会へも協力要請し、京都府北部の工業高校への出前授業など活動を広げていきたいと考えられています。従来の公的機関の就職支援の枠組みではなく、直接、高校生と保護者に業界の将来性や魅力を知っていただくことで、自然な形で信頼関係を構築し就職支援をすること、そこから若手人材の育成にもつなげていく取り組みを業界として力を入れているということをお話いただきました。

私たちにとって一番身近な電気。このコロナ禍の中で、電気、エネルギーや情報通信技術についてこんなに身近なものとして関心が高まったのは初めてではないでしょうか。今回「電気・通信設備のまもりびと」として活動している同協会についてお話をお聞きしたことで、電気工事業界のお仕事、日常に不可欠な電気についてさらに意識し、業界としての担い手育成への真剣な取り組みの重要性を学ばせていただきました。

(阪本 純子)

【法人概要・連絡先等はHPをご覧ください】

<https://www.dengyo-kyokai.kyoto/index.html>

研究会紹介

食と農のビジネス研究会

所属会員数	28名
活動日・時間	毎月第3水曜日19時開催
設立年月日	令和元年9月14日
代表者名	藤本勉
幹事・事務局対応者名	松井宏次、佐藤誠、 山本真輔、宮下雅樹



事務局の佐藤さんに研究会の概要、魅力について語っていただきました！（コロナ禍のため、zoomによる取材です）

—活動内容について教えてください。

農業関係者や食品業界、また、コンサルティング経験者が食と農についてテーマを設定して発表をすることが中心です。昨年はメンバー間での推薦や立候補で発表者を決めていましたが、今年はリモート会議中心のため、幹事がテーマを決めることが多くなっています。

会員の半数以上は京都協会入会3年未満の方です。食と農がテーマではありませんが、金融、メーカー、各士業等幅広い業界の方で構成されています。企業内診断士が独立診断士よりは少し多くなっていますね。

目標と考えています。食と農となると研究内容が広範囲となるため、幹となる活動方針が定まっていないとの反省点もありました。方針を明確化するとともに、今一番コロナの影響を大きく受けている業界の支援に繋がるような活動ができたらと考えています。

—2020年の活動トピックスを教えてください。

個人的には、10月に行ったリモート試食が印象に残っています。リモート会議でフィナンシェを試食して美味しさやパッケージなど商品进行评估しあうものです。知識の習得に直接繋がるものではないかもしれませんが、他の方の評価方法に感心するなど、事前に想像していたよりも楽しく気づきもありました。リモートでの支援方法を模索していく必要がある中で今後も色々なアイデアを出していきたいと思います。

—京都協会会員の皆さんへのメッセージをお願いします。

食品産業や農業に関連されていない方でもご興味があれば一度研究会にご参加ください。研究会は5名から10名ほどで開催していることが多いです。テーマが広範囲なので自分がやりたいことがあれば自由にできる場だと思います。無理のない活動で会員同士の交流の場になればと考えています。コロナが落ち着いた後は会員同士で食の業界調査としての食事会を予定しています。



定例会（リアルの場合）の様子

—研究会の設立目的はどのようなものですか？

農業、食品業界全般に対して適切なアドバイスとバックアップができる診断士を目指すため、会員相互の交流と診断士のスキルアップ及び知識の向上の場とすることです。

—所属会員の特色、特長を教えてください。

—2021年度の活動目標方針を教えてください。

これまでの活動で扱ってきた幅広い内容をまとめて、今後の支援に活かすことができるよう何か形に残すことを



研究会後の食事会にて



ゲスト講師の賀長先生

1月20日に開催された賀長哲也先生をゲストに迎えてのオンライン版研究会。賀長先生は創業支援をはじめとして幅広く経営支援や事業活動をされているなかで、農業支援にも携わっていらっしゃいます。その実践の現場についてお話を伺いました。参加者からかなりふみ込んだ質問も飛び出し「ここだけの話…」が盛りだくさんの会となりました。次回は朝市訪問研究会が予定されています。

（岡部 佳美）

去る2月13日（土）に京都駅前のメルパルク京都において、今年度3回目となる理論政策更新研修が行われました。前回に続きコロナウイルス感染症予防対策を講じての実施となりました。

第1講目は、「京都府域における産業支援について」と題し、公益財団法人 京都産業21 専務理事 岡本圭司様よりご講義いただきました。京都産業21の概要に始まり、コロナウイルス感染症の中小企業支援策のご説明、商



岡本様



研修風景

業施設等で使える「混雑見える化」システムや「買い物かご除菌装置」など補助金事業を活用しコロナ禍でがんばる中小企業の事例紹介がありました。コロナ禍での販路開拓支援では、遠隔・日対面・非接触でのビジネスマッチングサイト「京都商談ナビ」やバーチャル展示会が可能な「バーチャルパーク京都」などの新しい取り組みも紹介されました。

第2講目は、「中小企業の知的資産経営支援」と題し、協会会員の神戸壯

太さんにご講義いただきました。知的資産経営の考え方や定義のご紹介の後、実際に経営者に対してヒアリングをするときの具体的な手法、聞き出すためのノウハウなど詳細に説明をいただきました。80名を超える方が熱心に聴講されていました。令和3年度の理論政策更新研修も8月、10月、2月の3回開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。



神戸さん

(杉村 麻記子)

第9回 京都プロコンカレッジ開校！

当協会では、平成25年度から、これから独立する方や独立後間もない方を対象に、独立診断士に必要なコンサルティングノウハウや診断に必要な知識、営業方法などを講義と実習で学んで頂く、「京都プロコンカレッジ」を開校しています。今年度は、京都協会会員の方9名が参加されました。

本カレッジは、毎年6月に開校し8月まで講義を5回実施して、その後9月～翌年2月頃まで中小企業を訪問し、経営課題を解決するコンサルティング実務を行います。実務補習では経営課題を解決する提言を行います。コンサル実務はその提言を実行する為

のコンサルティングを行います。つまり、提言の実行を助言・指導する訳です（今年度は、特にコンサル実務ではコロナ時代に対応する為のコンサルティングも行いました）。

講師は、講義・実務とも京都協会でもコンサル実績があるベテラン会員が担当します。今年度のコンサル実務は、日用品小売業、フランス料理店、食品スーパーの経営課題解決に対応しました。実務は時間が限られますが、受講生の方は毎年持てる力を存分に発揮し、経営者からも感謝の言葉を頂く事が多くあります。

なお、今年度は、新型コロナの影響



で講義は原則オンラインで開催し、一部大きな会場でオフラインの講義も行いました（写真は会場での講義風景です）。また、3月下旬にはコンサル実務の発表会も行いました。来年度も引き続き実施しますので、プロコンを目指す方は、ぜひプロコンカレッジの門をたたいてください。（坂田 岳史）



診断士なら知っておくべき!? マネー講座

このコラムでは「診断士なら知っておくべき!? マネー講座」というテーマで計4回連載させていただきます。まず、1回目は身近な税金、固定資産税についてです。



固定資産税は ミスが多い!?

春は固定資産税、自動車税、個人住民税と、税金の納付書が次々届く季節です。納付書なんか見たくもないという方も多いかもしれませんが、固定資産税の納付書についてくる明細書は必ずチェックしましょう!

というのも、数年前の話ですが、武蔵野市が事務所用ビル2棟の固定資産税と都市計画税を18年間で計約2億2,300万円過大徴収していたというニュースがありました。ビルの所有者から開示請求があり、市の担当者が見直したところ間違いが発覚したのです。このような大規模な過大徴収はめったにないことではありますが、固定資産税は自分でチェックしなければ、間違っても気づかずに過ごしてしまうことがある税金です。

つまり、新築の場合は12月の完成より、1月の完成の方が、1年分固定資産税がお得になります。また、固定資産税の税率は1.4%、多くの地域では都市計画税0.3%と一緒に課税されていて合わせて1.7%課税されます。そして、ぜひとも見て頂きたい明細書について、明細書に記載されている評価額とは、固定資産の価格のことで、課税標準とは税率を乗じる対象となる金額のことで、特例措置が考慮された金額です。

×8戸=1,600㎡まで土地評価が6分の1になります。宅地なのに、評価額と課税標準が同じ、という場合は自治体の課税ミスの可能性が高いです。ちょっと話がそれますが、住宅を取り壊して駐車場などにした場合、翌年から固定資産税が6倍に跳ね上がってびっくり、ってこともあるので、ご注意下さい。また、新築・耐震改修・バリアフリー改修・省エネ改修の建物についても固定資産税の軽減特例があります。

固定資産税には特例が あります!

特に間違いが多いといわれる土地には、小規模住宅用地の軽減特例があり、住宅1戸につき200㎡までは6分の1の土地評価となります。つまり、8世帯のアパートであれば、住宅8戸となり200㎡

今回のまとめ

税金の時効は原則5年ですが、自治体の条例で5年以上の還付を行う自治体も多くあります。損をしないためにも、明細書をチェックして、あれ?って思ったら自治体に問合せしてみてくださいね!

(税理士 鬼形 順子)

知っておくべき 固定資産税の基礎知識

こうしたミスを見逃さないためにも、まずは固定資産税の基礎知識を身に付けましょう。固定資産税は、毎年1月1日に固定資産を所有している人に課税されます。



はんなり診断士



まさき ゆうじ
正木 祐司

皆様、こんにちは、令和2年5月に診断士登録した正木です。京都協会に8月に入会、受託業務等に参加させてもらっています。

さて、私は5年前、約30年勤務した日本生命を退職し、長岡京市で不動産賃貸事業を行っています。

保険会社時代は、生命保険では企業保険、損害保険（子会社）では火災保険を主に担当、保険と併せた福利厚生制度、リスクマネジメント構築などをやっていました。ま

た、阪神大震災時は総務部門に在籍し、地震後、自社の災害対策計画策定を行いました。

その後、厚生年金基金連合会の関係財団に派遣され「就業者の生きがい調査」、「オランダの就業モデル調査」等を行い人事・教育面における多くの示唆を得ました。そして、最後は関連会社で内部統制制度の構築に携わり経営管理、経理業務を担当しました。

これらの経験もあり、内部統制、リスク管理、人材管理に興味ある分野としています。

また、海外、特にヨーロッパを中心とした諸国の歴史、文化に興味を持ち、ここ15年、旅行を重ねていました。これが高じてドイツ語、イタリア語を習い、最近ではスペイン、ポルトガル語を独習しています。これもあり、ビジネス面でのヨーロッパを中心とした国際事業・文化交流に興味を持っています。

今後とも宜しくお付き合いの程、お願い致します。



やまむら けいこ
山村 恵子

皆さま、こんにちは。山村恵子と申します。2020年に中小企業診断士登録をし、京都協会に入会させていただきました。2020年5月より京都商工会議所で、中小企業者に対して、経営・融資・創業・補助金の申請等の経営支援を行っています。兵庫県、大阪府の、市役所や大学での勤務を経て、診断士合格を機に現職にご縁をいただきまし

た。協会では、まだ楽集会の所属のみで、今後活動の幅を広げたいと思っています。

診断士の勉強を始めたのは、これまでの業務経験を集大成できると思ったこと、中小企業がその個性を生かして活躍できてこそ、私たちの生活が豊かなものとなり、そのための支援をしたいとの思いからでした。試験合格までの道のりも長かったのですが、実際に経営支援に携わっている現在、製造や販売経験が無いため悩むことも多く、協会の研究会等で経験豊富で専門性の高い諸先輩方から、刺激をいただき研鑽を重ねたいと思っています。これまで、ファシリテーション、コーチング、NLP等組織開発に興味を持ち、NPO等で異業種交流をしながら経験を積んできました。今後この分野を活かした経営支援にも挑戦したいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

My favorite

診断士のお気に入り

岩本繊維株式会社の「つくるパジャマ」

浦出 奈緒子

小学生の時に読んだ富山和子著「森は生きている」。資源循環性と環境保護の大切さが説かれていて、大きな感銘を受けました。それから大量生産・大量消費に疑問を持つようになり、今も私にとっての良いものは何か、考えます。

安く売するための低賃金労働と大量生産。目新しさや多量の陳列で購買意欲を煽るため、商品



サイクルを短期化させ、売れ残りは廃棄処分。一体何をやっているのだろうと思います。

ところで、私はリネンが大好き。寝具は1年中、白いリネ

ンです。そんな私のおすすめは、京都と滋賀に自社工場をもつ岩本繊維(株)さんの「つくるパジャマ」のフレンチリネンパジャマ。

どの製品も着心地抜群なのですが、それは最高の肌触りのため、生地から自社開発しているから。丁寧な縫製からは、確かなモノづくり技術が伝わってきます。「つくるパジャマ」はオーダーメイド。サイズはピッタリ、廃棄もありません。近畿経済産業局の第20回「新たな日常に向けた個人消費の変化を捉えるビジネス」にも選ばれています。

睡眠環境は、一度投資すると回収は毎晩。パジャマとしては安くありませんが、心地よく、ぐっすり寝たい方におすすめです♪

次号は山本知美さん、お願いします。

京都の診断士だったら
 知っておきたい基礎問題にチャレンジ!!

京都検定

京都・観光文化検定試験
 京都商工会議所

本事業は
 京都検定を応援しています

Q 初夏に平安神宮でかがり火を焚いて、
 野外で行われる行事は何か。
 (第10回 京都観光文化検定試験3級(44)より引用)

- A ①煎茶献茶祭 ②献酒祭 ③献菓祭
 ④京都新能

表紙の写真と連動した問題をセレクトしてお届けします。

京都診断協会の行事予定

- 5月29日(土) 通常総会 メルパルク京都
 8月7日(土) 理論更新研修 メルパルク京都
 5-A会議室

編集後記

4月は多くの企業や学校で新年度を迎える月ですね。

新型コロナウイルスは私たちの生活を一変させましたが、NewNormalの中、皆さんの創意工夫で新しい形が見え始めた1年だったと思います。

京都診断協会は一般社団法人となって10周年を迎えました。この「診断京都」も新しい編集スタッフがたくさん参加いただくことになり、紙面を刷新することができました。今後とも皆様に様々な情報をお届けしてまいります。どうぞよろしく申し上げます。(杉村)